2027年度　安全対策部事業要項

安全対策部事業全般について
(1) 各事業詳細については、SAJホームページで随時お知らせします。
(2) 受検者ハンドブックの、別に定める事項については、該当の事業要項に記載しています。
(3) 各事業受講者・受検者（以下「参加者」という。）は、スキー傷害保険に加入していなければなりません。
(4) 各事業会期中及び前後泊宿舎は、各自で手配してください。
(5) 各事業参加費支払い後の返金はできません。
(6) 参加費支払期限までに支払いされなかった場合、申込みが取り消され、その旨シクミネットマイページにご登録のメールアドレスに通知します。支払いを忘れないよう十分に注意してください。
(7) 会員個人に代わってクラブ、加盟団体の管理者が代理ログインにて代理申請を行った場合、受講料の支払い方法は「バーチャル口座決済」を選択しないようご注意ください。１度バーチャル口座決済を選択したら、30日間変更ができませんので、支払い期限を過ぎた場合は、申込みの受付ができません。
(8) 参加者は少しでも体調が悪い場合は参加を見合わせてください。
(9) 各事業参加申込後に欠席する場合
- 申込み後、やむを得ず参加できなくなった場合は、事前に所属加盟団体（都道府県スキー連盟）と現地連絡先に、氏名・会員番号・イベント名・会場・チケット名を連絡してください。
- 加盟団体は、欠席者からの欠席連絡を受け、所定の様式で欠席届をSAJ事務局普及事業課にE-mailで連絡してください。

(10)各事業参加申込みに必要な個人情報は、本事業の運営にのみ使用されることに同意の上お申し込みください。
(11)その他の問い合わせ等は、各事業要項に記載の連絡先までお願いします。
(12)各事業名冒頭のSDxx.は、安全対策部（SD: Safety Department）事業番号（No:xx）を表します。

SD01.安全対策委員会専門委員会議①
【会期】　2026年9月19日（土）　14：30～17：00
【会場】　オンライン
【事業の目的】
1. 安全対策部の活動方針・事業内容等の確認
2. スキーパトロール中央研修会における必要な理論および実技課題に関する審議
【参加者】SAJ教育本部担当理事、SAJ安全対策部専門委員
【連絡先】
川内　慎吾
メール：kawauchi.shingo@gmail.com
携帯電話：090-8859-8822

SD02.安全対策委員会専門委員会議②
【会期】　2026年10月30日（土）　14：30～17：00
【会場】　オンライン
【事業の目的】
1. 全国安全対策委員長会議の確認
2. スキーパトロール検定会・研修会・養成講習会の任務遂行に必要な理論および実技課題に関する審議
【参加者】SAJ教育本部担当理事、SAJ安全対策部専門委員
【連絡先】
川内　慎吾
メール：kawauchi.shingo@gmail.com
携帯電話：090-8859-8822

SD03.全国安全対策委員長会議
【会期】　2026年11月7日（土）15：00～17：00
【会場】　JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE（3階　会議室）並びにオンライン併用
【事業の目的】
加盟団体の安全対策委員長が参加し、スノースポーツの安全対策、スキー場の安全管理等について情報交換する。
【参加者】加盟団体安全対策委員長（または代理）
【連絡先】
川内　慎吾
メール：kawauchi.shingo@gmail.com
携帯電話：090-8859-8822

SD04.スキーパトロール中央研修会
【会期】　2026年11月26日（木）～11月29日（日）
【会場】　北海道・札幌国際スキー場
【事業の目的】
1. 安全対策部の活動方針・事業内容等の周知
2. スキーパトロール技術員研修会、スキーパトロール検定会・研修会・養成講習会の任務遂行に必要な理論および実技課題に関する研修
【本部宿舎】定山渓万世閣　ホテルミリオーネ
〒061-2302 北海道札幌市南区定山渓温泉東3丁目
TEL　0570-083-500
FAX　011-595-2131
【参加者】　SAJ安全対策部専門委員
【連絡先】
上杉　一哲（案）
メール：kaz-skier32@nifty.com
携帯電話：090-8729-5418

SD05.スキーパトロール技術員研修会（北海道ブロック）
【事業の目的】
1. 安全対策部の活動方針・事業内容等の周知
2. スキーパトロール検定会・研修会・養成講習会の任務遂行に必要な理論および実技課題に関する研修
【申込み方法】
参加希望者は、本連盟会員管理システム（以下、シクミネット）で今年度の会員登録を行い、会員登録料決済後、シクミネットマイページからお申込みください。シクミネットからお申込みが出来ない場合は、所属クラブまたは所属加盟団体にご相談ください。
【会期】　2026年12月4日（金）～12月6日（日）
【会場】　北海道・札幌国際スキー場
【本部宿舎】定山渓万世閣ホテルミリオーネ
〒061-2302 北海道札幌市南区定山渓温泉東3丁目
TEL　0570-083-500
FAX　011-595-2131
【参加者】　北海道ブロックのSAJスキーパトロール技術員
【申込み受付期間】北海道スキー連盟の要項による
【連絡先】
山村　誠
メール：mako-1105-yam@kvj.biglobe.ne.jp
携帯電話：090-2051-1009

SD06.スキーパトロール技術員研修会（東北ブロック）

【事業の目的】

1. 安全対策部の活動方針・事業内容等の周知
2. スキーパトロール検定会・研修会・養成講習会の任務遂行に必要な理論および実技課題に関する研修

【申込み方法】

参加希望者は、本連盟会員管理システム（以下、シクミネット）で今年度の会員登録を行い、会員登録料決済後、シクミネットマイページからお申込みください。シクミネットからお申込みが出来ない場合は、所属クラブまたは所属加盟団体にご相談ください。

【会期】　2026年12月5日（土）～12月6日（日）

【会場】　福島県・グランデコスノーリゾートスキー場

【本部宿舎】EN RESORT Grandeco Hotel（エンリゾート グランデコホテル）

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村檜原荒砂沢山1082

TEL　0241-32-3200

FAX　0241-32-3215

【参加者】　東北ブロックのSAJスキーパトロール技術員

【申込み受付期間】東北ブロックスキー連盟の要項による

【連絡先】

小笠原　崇文

メール：phsxp823@ybb.ne.jp

携帯電話：090-3645-1293

SD07.スキーパトロール技術員研修会（北関東・南関東・甲信越・東海北陸・近畿・西日本ブロック）

【事業の目的】

1. 安全対策部の活動方針・事業内容等の周知
2. スキーパトロール検定会・研修会・養成講習会の任務遂行に必要な理論および実技課題に関する研修

【申込み方法】

参加希望者は、本連盟会員管理システム（以下、シクミネット）で今年度の会員登録を行い、会員登録料決済後、シクミネットマイページからお申込みください。シクミネットからお申込みが出来ない場合は、所属クラブまたは所属加盟団体にご相談ください。

【会期】　2026年12月4日（金）～12月6日（日）

【会場】　長野県・ピラタス蓼科スノーリゾート

【日程】

第1日目	12月4日(金)
16:00～	研修会受付
16:30	開会式
16:45～18:00	理論研修1　研修課題について等
19:00～21:00	理論研修2
第2日目	12月5日(土)
07:00～07:30	朝のつどい
09:30～11:30	実技研修1　基礎種目1
12:30～14:30	実技研修2　基礎種目2
14:30～16:30	実技研修3　搬送種目
19:00～21:00	実技研修4
第3日目	12月6日(日)
07:00～07:30	朝のつどい
09:30～12:30	実技研修5
12:30～13:00	閉会式・解散

【本部宿舎】コロシアムinn蓼科

〒384-2309 長野県北佐久郡立科町芦田八ヶ野 410-1
TEL　0267-55-6341
FAX　0267-55-6817
【参加者】　北関東・南関東・甲信越・東海北陸・近畿・西日本ブロックの
SAJ スキーパトロール技術員
【申込み受付期間】2026 年 10 月 16 日（金）～11 月 4 日（水）
【その他】
使用教材・資機材：日本スキー教程安全編（2024 年 10 月発行）、受検者ハンドブック（安全対策部）（2025 年 10 月本連盟 HP 掲載版）、ロープ・三角巾・保護ガーゼ、アキヤボート流れ止め、スキー用具
【連絡先】
新村　昌宏
メール：supe7bdr-sp@384.jp
携帯電話：090-7827-2341

SD08_09.公認スキーパトロール検定会
公認スキーパトロール検定はスキー又はスノーボードのいずれかを受検申込時に選択し、受検できます。ただし、申込時に選択したスキー又はスノーボードの用具の変更はできません。
下記内容を確認の上、申込みしてください。
□申込み要件
（1）受検申込期限までに、受検年度の本連盟会員登録を完了した者
（2）①スキーで受検する者の受検資格要件
受検申込期限までに、スキー級別テスト 1 級又はスキープライズテストに合格した者。
又は、スキー準指導員、スキー指導員、功労スキー準指導員、功労スキー指導員のいずれかの資格を有し、資格の状態が有効な者。
（スノーボード級別テスト 1 級、スノーボードプライズテスト、スノーボード準指導員、スノーボード指導員、功労スノーボード準指導員、功労スノーボード指導員の資格を有していても、上記の資格を有していなければ受検できません。）

②スノーボードで受検する者の受検資格要件
受検申込期限までに、スノーボード級別テスト 1 級又はスノーボードプライズテストに合格した者。
又は、スノーボード準指導員、スノーボード指導者資格、功労スノーボード準指導員、功労スノーボード指導員のいずれかの資格を有し、資格の状態が有効な者。
（スキー級別テスト 1 級、スキープライズテスト、スキー準指導員、スキー指導員、功労スキー準指導員、功労スキー指導員の資格を有していても、上記の資格を有していなければ受検できません。）
（3）赤十字救急法救急員認定証（有効期間 5 年間）の交付を受け、検定会までに赤十字救急法救急員認定証の提出ができる者、又は専科教育救急科修了者（消防学校において、250 時間以上の教育を受けた者）で、検定会までに修了証の提出ができる者、又は医師・歯科医師・看護師・准看護師、救急救命士の資格を有し、検定会申込時に免許状の提出ができる者
（4）受検する年度の 4 月 1 日時点で 20 歳以上
（5）加盟団体が実施するスキーパトロール養成講習（以下「養成講習」という）を修了し、修了証（有効期間 3 年）によって証明された者、又は検定会までに修了証の提出ができる者
※スノーボードで受検希望者は、受検年度開催の養成講習を修了のこと
□申込み方法
（1）本連盟会員管理システム「シクミネット」で受検年度の会員登録・決済を済ませてください。
シクミネットから申込み出来ない場合は、所属クラブまたは所属加盟団体に相談してください。
（2）受検者は、シクミネットマイページから、申込期間内（2026 年 10 月 21 日（水）～11 月 18 日（水））※1 に下記申込時必要書類をアップロードし、検定会の申込みをしてください。

(3) 加盟団体は、必要書類に不備がないか確認後、2026年11月25日（水）※2までにシクミネットで承認してください。
(4) SAJ本部は申込書類審査を行い、不備がなければ参加費支払いに関するメールを、2026年12月9日（水）※3までにシクミネットマイページに登録しているメールアドレスに送信します。不備があった場合は申込みが差し戻され受検不可となります。
(5) 受検者は、参加費支払いに関するメール受信後、支払期限（2026年12月16日（水））※4までに、参加費（検定料）を支払ってください。参加費の支払いがない場合は、申込みが取り消され、その旨シクミネットマイページにご登録のメールアドレスに通知します。
(6) 申込時の検定料、合格後の公認料、登録料、バッジ代については次のとおりです。
（申込時）検定料 20,000円
（合格後）公認料　8,000円、登録料1,500円、バッジ代2,200円

※受検者ハンドブック（安全対策部）（2025年10月本連盟HP掲載版）における※1～4の日程等については上記のとおり

□申込み時必要書類
(1) スキー級別テスト1級（スキープライズテストを含む）、スノーボード級別テスト1級（スノーボードプライズテストを含む）の合格証
（但し、スキー準指導員以上・スノーボード準指導員以上は不要）
(2) 下記いずれかの認定証等の写し
①有効期限内の赤十字救急法 救急員認定証（有効期間5年）
②専科教育救急科の修了証
③医師、歯科医師、看護師、准看護師、救急救命士いずれかの免許状
④赤十字救急法救急員取得見込み、専科教育救急科修了見込みの場合は、赤十字・消防関係資格取得見込届（A4版　SAJ HP内ライブラリー掲載様式参照）
(3) 有効期限内の養成講習修了報告書
受検年度に養成講習修了見込みの場合は、受検者記載の養成講習修了見込届（A4版　SAJ HP内ライブラリー掲載様式参照）
(4) 上記（1）～（3）をそれぞれPDFファイルにまとめ（両面必要な場合は両面）、アップロードしてください。

□理論テストの出題範囲
原則として本連盟の教程等刊行物及び規約・規程（本連盟HP→ライブラリー内参照）

□実技テストの種目
(1) 基礎種目テスト（スキー又はスノーボード）は、P9別表①記載のとおり
(2) 搬送種目テスト（スキー又はスノーボード）は、P9別表②記載のとおり

□検定会要項
【会期】　2026年2月21日(土)～2月22日(日)
【日程】（会場の都合等により変更になる場合があります）

前日	2月20日(金)
13:00～18:00	役員集合・検定会役員会議（本部宿舎）
第1日目	2月21日(土)
08:30～09:00	受検者受付
09:00～09:30	開会式
10:00～12:00	実技テスト
13:00～15:00	実技テスト
第2日目	2月22日(日)
09:30～10:30	理論テスト
12:00～13:00	閉会式・合格発表・諸手続き

第１会場（スキー・スノーボード検定会場）

【会場】北海道　美唄国設スキー場
【本部宿舎】ピパの湯ゆ～りん館
〒072-0808　北海道美唄市東明町３区
TEL　0126-64-3800
FAX　0126-63-2115
【現地連絡先】
三浦　聡子
メール：satto8541@gmail.com
携帯電話：080-3233-0688

第２会場（スキー・スノーボード検定会場）

【会場】山形県　蔵王温泉スキー場
【本部宿舎】最上高湯　善七乃湯
〒990-2301　山形県山形市蔵王温泉 825
TEL　023-694-9422
FAX　023-694-9415
【現地連絡先】
高橋　弘一
メール：jp7qeb@yahoo.co.jp
電　話：090-8255-6189
【検定会受付時必要書類】
(1) スキーパトロール養成講習修了報告書（写）
※受検年度に養成講習修了する受検者が対象
(2) 赤十字救急法救急員認定証（写）、専科教育救急科修了証（写）
※受検申込時に赤十字救急法救急員取得見込み、又は専科教育救急科修了見込みで、赤十字・消防関係資格取得見込届を提出した受検者が対象
(3) 公的本人確認書類（運転免許証、パスポート、マイナンバーカード、健康保険証）のいずれか１点
【検定会携行品】
日本スキー教程安全編（2024 年 10 月発行）、受検者ハンドブック（安全対策部）（2025 年 10 月本連盟 HP 掲載版）、筆記用具、保険証、スキー又はスノーボード用具、ヘルメット
【宿舎】
会期中及び前後の宿泊は各自で手配が基本ですが、必要なら現地連絡先で宿舎を紹介します。
【欠席連絡】
・欠席者は、所属加盟団体（都道府県スキー連盟）と現地連絡先に、氏名・会員番号・イベント名・会場・チケット名を連絡してください
・加盟団体は、欠席者からの欠席連絡を受け、所定の様式で欠席届を SAJ 事務局普及事業課に E-mail で連絡してください
【その他】
・期間中の遅参・早退・欠科目は認めません
・実技テストではヘルメットを着用すること

SD010.公認スキーパトロール研修会（東日本会場）

【事業の目的】
教育本部の活動指針並びに今年度のスキーパトロール有資格者の研修課題を周知し、理解の徹底を図ると共に、スノースポーツにおける安全対策や事故防止、スキー場の安全管理等についての課題解決等の充実に資することを目的とします。
【参加者】
公認スキーパトロール有資格者

【会期】　2026 年 3 月 13 日（土）～3 月 14 日（日）
【会場】　新潟県・苗場プリンススキー場
【日程】（諸事情により変更になる場合があります）

前日	3 月 12 日(金)
16:00～18:00	役員集合・役員会（本部宿舎）
第 1 日目	3 月 13 日(土)
08:00～08:30	受付
09:00～	開会式
10:00～12:00	実技研修 1
13:00～15:00	実技研修 2
第 2 日目	3 月 14 日(日)
09:30～11:30	実技研修 3
12:30～14:30	実技研修 4
14:30～	閉会式・解散

本部宿舎】苗場プリンスホテル
〒949-6292 新潟県南魚沼郡湯沢町三国 202
TEL　025-789-2211
FAX　025-789-3140
【参加者宿舎】
会期中及び前後の宿泊は各自で手配が基本ですが、必要なら現地連絡先で宿舎を紹介します。
【参加費用】
受講料 6,000 円、リフト料金は各自負担
【参加申込み方法】
参加希望者は、本連盟会員管理システムシクミネットで受講年度の会員登録を行い、会員登録料決済後、シクミネットマイページからお申込みください。参加申込みは、参加費（受講料）のお支払い完了をもって正式に参加確定となります。シクミネットからお申込みができない場合は、所属クラブまたは所属加盟団体に相談してください。
【参加申込み受付期間】
2027 年 1 月 6 日（水）～2 月 3 日（水）
【参加費支払期限】
2027 年 2 月 4 日（木）
支払期限までに参加費の支払いがない場合は、自動的に申込みが取り消され、その旨シクミネットマイページにご登録のメールアドレスに通知します。
【欠席連絡】
・欠席者は、所属加盟団体（都道府県スキー連盟）と現地連絡先に、氏名・会員番号・イベント名・会場・チケット名を連絡してください。
・加盟団体は、欠席者からの欠席連絡を受け、所定の様式で欠席届を、SAJ 事務局普及事業課に E-mail で連絡してください。
【現地連絡先】
石田　英之
メール：ishida@okutadami.co.jp
携帯電話：090-3430-2517

SD011.公認スキーパトロール研修会（西日本会場）
【事業の目的】
教育本部の活動指針並びに今年度のスキーパトロール有資格者の研修課題を周知し、理解の徹底を図ると共に、スノースポーツにおける安全対策や事故防止、スキー場の安全管理等についての課題解決等の充実に資することを目的とします。

【参加者】
公認スキーパトロール有資格者
【会期】　2027年3月6日（土）～3月7日（日）
【会場】　富山県・イオックス・アローザスキー場
【日程】（諸事情により変更になる場合があります）

前日	3月5日(金)
16:00～18:00	役員集合・役員会（本部宿舎）
第1日目	3月6日(土)
08:00～08:30	受付
09:00～	開会式
10:00～12:00	実技研修1
13:00～15:00	実技研修2
第2日目	3月7日(日)
09:30～11:30	実技研修3
12:30～14:30	実技研修4
14:30～	閉会式・解散

【本部宿舎】イオックスヴァルト
〒939-1681　富山県南砺市才川七アローザ村
TEL　0763-55-1969
FAX
【参加者宿舎】
会期中及び前後の宿泊は各自で手配が基本ですが、必要なら現地連絡先で宿舎を紹介します。
【参加費用】
受講料6,000円、リフト料金は各自負担
【参加申込み方法】
参加希望者は、本連盟会員管理システムシクミネットで受講年度の会員登録を行い、会員登録料決済後、シクミネットマイページからお申込みください。参加申込みは、参加費（受講料）のお支払い完了をもって正式に参加確定となります。シクミネットからお申込みができない場合は、所属クラブまたは所属加盟団体に相談してください。
【参加申込み受付期間】
2026年12月16日（水）～2027年1月27日（水）
【参加費支払期限】
2027年1月28日（木）
支払期限までに参加費の支払いがない場合は、申込みが取り消され、その旨シクミネットマイページにご登録のメールアドレスに通知します。
【欠席連絡】
・欠席者は、所属加盟団体（都道府県スキー連盟）と現地連絡先に、氏名・会員番号・イベント名・会場・チケット名を連絡してください。
・加盟団体は、欠席者からの欠席連絡を受け、所定の様式で欠席届を、SAJ事務局普及事業課にE-mailで連絡してください。
【現地連絡先】
原野　浩司
メール：tonamiski@gmail.com
携帯電話：090-2126-2538

【規程番号 531「公認スキーパトロール検定基準と実施要領」の別表】

別表①　公認スキーパトロール検定　基礎種目テスト（スキー又はスノーボード）実施要領

区分	実技種目	斜面／回転数	実技の内容	評価の観点
制動技術	【スキー】 プルークボーゲン	・整地／中急斜面 ・中回り ・6 回転以上	・制動を主体とした回転技術	・ターン運動の構成（ポジショニング、エッジング） ・斜面状況への適応度（スピードと回転弧のコントロール） ・運動の質的内容（バランス・リズム・タイミング）
	【スノーボード】 ミドルターン （スライド）	・整地／中急斜面 ・中回り ・6 回転以上	・ズレの多い、制動を主体とした回転技術	
	【スキー】 横滑り	・整地／中急斜面 ・プルークスタンスでの左右の切換え 4 回以上 ・ピボット操作での左右の切換え 4 回以上	・種類の異なる切換えを連続して行う ・スピードコントロールとフォールライン方向維持	
	【スノーボード】 スリップ to スリップ	・整地／中急斜面 ・切換え 4 回以上	・スピードコントロールとフォールライン方向維持	
応用技術	【スキー】 パラレルターン （小回り）	・整地／急斜面	・各種地形・雪質への対応 ・滑らかで安定した操作	
	【スノーボード】 ショートターン	・整地／急斜面	・リズムを一定に保ち、バランスのとれたスムーズなショートターン。 ・タイミング、方向、量、それらを小さなターンスペース内に収めるためのポジションを意識	
	【スキー】 パラレルターン （大回り）	・整地／急斜面	・各種地形・雪質への対応 ・滑らかで安定した操作	
	【スノーボード】 ミドルターン	・整地／急斜面	・リズムを一定に保ち、落差と横幅が整った滑らかなターン ・ズレの少ないターン	

別表②　公認スキーパトロール検定　搬送種目テスト（スキー又はスノーボード）実施要領

区分	実技種目	斜面／回転数	実技の内容	評価の観点
搬送技術	制限搬送	・整地／緩中斜面 ・大回りと浅回り 10～15 旗門を含む複合コース	・仮傷病者をのせたアキヤボートを後方 1 人操作で搬送する	・安定を優先したスムーズな操作 ・指定条件の達成
	真下搬送	・整地／中急斜面 ・斜度に合わせた旗門間隔、旗門距離でオープンゲート 4 セットで構成されたコース	・仮傷病者をのせたアキヤボートを後方 1 人操作で搬送する	

別表③　公認スキーパトロール養成講習実施要領
I．理論講習　15 時間（集合講習 6 時間、自主学習 9 時間）

講習科目	時間	内容
序　　論	1.0	①スノースポーツを取り巻く環境　②スノースポーツに内在する危険 ③スノースポーツ事故の実態　④安全なスノースポーツ環境の創出に向けて
安全な滑走のために	1.0	①スキーヤーの責務　②引率者・指導者および受講者の責務 ③救助義務　④個別性に対する安全対策　⑤冬山の自然 ⑥用具と安全　⑦事故の法的責任
山岳スキー (BC スキー)	1.0	①雪山とスキー場　②装備　③訓練をする　④計画を立てる ⑤状況に気づく　⑥リスクを減らす
スキーパトロール概論	1.5	①スキーパトロールとは　②スキーパトロールの業務内容 ③スキーパトロールに求められる知識・技術　④索道と雪上車両
スノースポーツの医学	1.5	①スノースポーツ救急法概論　②スノースポーツの外傷・障害

II．実技講習　22.5 時間（集合講習 14.5 時間、自主学習 8 時間）

講習科目	時間	内容
基礎種目制動技術 （スキー又はスノーボード）	3.0	スキーパトロールとして必要な、制動技術・回転技術・総合技術を用いた 【スキー】プルークボーゲン、横滑り、片開きプルーク（別表④講習内検定） 【スノーボード】ミドルターン（スライド）、スリップ to スリップ、ストレートランニング～スリップ to スリップ（別表④講習内検定）
基礎種目応用技術 （スキー又はスノーボード）	2.0	【スキー】パラレルターン（小回り、大回り） 【スノーボード】ショートターン、ミドルターン
搬送種目 （スキー又はスノーボード）	5.5	仮傷病者をのせたアキヤボート後方一人操作で制限搬送 （浅回り搬送、大回り搬送）　真下搬送
救急法	2.0	赤十字救急法講習教本に示す三角巾包帯法及び止血法 （別表⑤講習内検定）
ロープ操法	2.0	日本スキー教程安全編（2024 年 10 月発行）に示すロープワーク（別表⑥講習内検定）

別表④　公認スキーパトロール検定　基礎種目制動技術講習内検定（スキー又はスノーボード）実施要領

区分	実技種目	斜面／回転数	実技の内容	評価の観点	合否判定
制動技術	【スキー】 片開きプルーク	・整地／中斜面 ・左右の切換え 4 回 ・直滑降、切換え、停止ゾーン指定	・スピードコントロールとフォールライン方向維持 ・滑らかで安定した切換え操作	・ターン運動の構成（ポジショニング、エッジング） ・斜面状況への適応度（スピードと回転弧のコントロール） ・運動の質的内容（バランス・リズム・タイミング）	100 ポイント満点とし、75 ポイント以上を合格とする
	【スノーボード】 ストレートランニング～スリップ to スリップ	・整地／中斜面 ・切換え 4 回 ・直滑降、切換え、停止ゾーン指定			

別表⑤　公認スキーパトロール検定　救急法講習内検定実施要領

区分	課題	条件	方法	評価の観点	合否判定
止血	出血に対する手当として、直接圧迫止血法（１種目）と止血帯止血法（２種目）を出題する	・検定員は、受検者を事前にバディを組ませ、一方を救助者、他方を傷病者とする ・具体的に、患部及び状態を指定する ・傷病者の体位は、検定員が指示する ・止血帯は、素早く実施することが原則であり制限時間は設けないが、検定中に緊縛時間が長くならないように配慮する	・救助者と傷病者は向かい合って位置する ・救助者は、検定員の「始め」の合図で、手技を開始する ・救助者は、検定員の「止め」の合図で、手技を終了する ・検定員は手技を採点する ・救助者と傷病者は、役割を交代する	a. 直接圧迫止血法 ・患部の状況にあった保護ガーゼを当て、手全体で圧迫しているか ・救助者の位置、姿勢は良いか b. 止血帯止血法 ・止血帯を巻き付ける位置は正しいか ・棒やロッドの固定は確実にできているか ・三角巾やバンドは緩くないか ※種目ごとに以上のポイントを目安に判定する	1種目あたり100ポイントとし、8種目の合計が600ポイント以上を合格とする
包帯・固定（副子を使用しないもの）	・きずに対する手当として、三角巾（額，頭，前腕 a，膝，腕のつり a から４種目）を出題する ・骨折、脱臼、捻挫に対する手当として、副子を使用しない固定（鎖骨骨折固定，足首捻挫固定から１種目）を出題する	・検定員は、受検者を事前にバディを組ませ、一方を救助者、他方を傷病者とする ・救助者は、保護ガーゼ、三角巾等を用意する ・具体的に、患部及びきずの状態を指定する ・傷病者の体位は、検定員が指示する ・三角巾は開き三角巾の状態から始める ・制限時間は、概ね次の時間を目安とする 三角巾１枚を使用するものは1分30秒 三角巾２枚を使用するものは2分30秒	・救助者と傷病者は向かい合って位置する ・救助者は、検定員の「始め」の合図で、手技を開始する ・救助者は、検定員の「止め」の合図で、手技を終了する ・検定員は手技を採点する ・救助者と傷病者は、役割を交代する	a. 保護ガーゼ（固定は除く） ・確実に患部を覆っているか ・きずにあった厚さ、広さになっているか b. 包帯の巻き方 ・手順通りに出来ているか ・たるみがなく保護ガーゼが支持されているか ・患部を十分に覆えているか ・本結びになっているか ・末端の処理はよいか c. 締め具合 ・きずにあった締め具合になっているか d. 結び目の位置 ・基本的に外側、上部で結ばれているか ・きずを避けた位置で結ばれているか e. その他 ・傷病者を手荒に取り扱っていないか ・保護ガーゼ、包帯の扱いは良いか ・全体のバランスは良いか ・時間内にできたか ※以上のポイントを目安に判定する	

別表⑥　公認スキーパトロール検定　ロープ操法講習内検定実施要領

区分	課題	条件	方法	評価の観点	合否判定
ロープ操法	日本スキー教程安全編（2024年10月発行）に示す結びの種類から８種目を出題する	・検定に使用するロープは、外径　7.0　～12.0㎜，長さ５ｍ、材質はロープ検定種目に適したものとする ・検定員は、結びの種類を指定する ・受検者は、ロープ末端を片手で保持した状態で待機する ・制限時間は、全種目とも40秒とする	・受検者は、検定員の「始め」の合図で、手技を開始し、「止め」の合図で、手技を終了する ・検定員は評価の観点に基づき採点する	・輪の大きさ（種目の用途に適しているか） ・末端の長さ（一握り程度の長さか） ・結束の強さ（結びが緩んでいないか） ・時間（制限時間内に結束できたか）	1種目あたり100ポイントとし、 8種目の合計が600ポイント以上を合格とする